

現代社会の変容による人間行動の変化について 消費行動の変容を中心として

大橋 正和 編著

2015年3月31日発行

中央大学出版部 発行

本体価格 2,600円(税別)

序		
第1章	情報社会における消費の理論的考察	大橋 正和
第2章	情報社会における消費行動の変容 —デジタル化とインターネットの影響について—	大橋 正和 高橋 宏幸
第3章	現代社会の変容と女性消費者の動向	堀 眞由美
第4章	中国消費市場における小売業の戦略と消費者行動	韓 正 洲
第5章	メディア誘発による「物語—観光」再組織化モデル —中国映画『非誠勿擾』と北海道観光ブーム—	朱 敏 華 松野 良一
第6章	日本におけるインバウンド観光の拡大について —中国・韓国・台湾の訪日観光客の消費特性について—	陳 雪 瑞
第7章	日本と中国の大学における論文生産量の比較研究 —1975年から2012年の論文生産量に基づいた 2013年から2015年の論文生産量の予測—	角田 裕之
第8章	食文化の変容に関する考察 —食育基本法の前後における食に関する意識・行動の 変容を中心として—	倉田 紀子
あとがき		
索引		